



# アセットの検索：クエリ

## OnCommand Insight

NetApp  
October 24, 2024

# 目次

|                                    |   |
|------------------------------------|---|
| アセットの検索：クエリ .....                  | 1 |
| クエリを使用してアセットにアノテーションを付ける.....      | 1 |
| クエリを実行してデータセンターにアノテーションを適用します..... | 1 |
| 階層を照会してアノテーションを適用しています .....       | 2 |
| サービスレベルと環境のアノテーション .....           | 3 |

# アセットの検索：クエリ

強力なクエリを使用して、環境内のアセットを簡単に検索して表示できます。

## クエリを使用してアセットにアノテーションを付ける

これで最初のアノテーションが作成されました。次に、それらのアノテーションを特定のアセットに関連付ける方法を見てみましょう。

以降の例では、これらのアノテーションを特定のアセットに適用します。たとえば、特定のデータセンターにあるすべてのストレージアレイを一覧表示するクエリを作成し、それらのストレージアレイに適切なアノテーションを付けます。次に、特定の階層とサービスレベルに属するアセットについても同じ手順を実行します。

## クエリを実行してデータセンターにアノテーションを適用します

クエリを使用して、環境内の適切なアセットにアノテーションを関連付けます。この例では、選択したアセットにデータセンターのアノテーションを関連付けます。

Insightでは、データソースの取得時に、検出した各アセットの名前（その他の情報を含む）が収集されます。この例では、すべてのストレージアレイに、格納されているデータセンターに基づいて名前が付けられていることを前提としています（サニーベールにあるアレイの場合は「<label>」など）。Insightのクエリを使用すると、アセットへのアノテーションを簡単に設定できます。

- ・管理者権限を持つユーザとしてInsightにログインします
- ・[Queries]>[\*+New Query]\*を選択します
- ・フィールドのドロップダウンリストで、[ストレージ]\*を選択します。すべてのストレージアレイのリストが表示されます。
- ・「\* Name \* filter」フィールドに「`SVL'」と入力し、をクリックします  ボタンを押します（またはEnterキーを押します）。クエリ結果リストが更新され、文字列"SVL"を含む配列のみが表示されるようになりました。
- ・フィルタする場合は、[Query]ページのテキストボックスで次の文字を単独で使用するか、組み合わせて使用して検索を絞り込むことができます。
  - アスタリスクを使用すると、すべての項目を検索できます。たとえば、「vol \* rhel」と指定すると、先頭が「vol」で末尾が「rhel」のアセットが表示されます。
  - 疑問符を使用すると、特定の数の文字を検索できます。たとえば、「SVL-PRD??-S12」をフィルタリングすると、SVL-PRD12-S12、SVL-PRD13-S12などが表示されます。
  - OR 演算子を使用すると、複数のエンティティを指定できます。たとえば、「FAS2240 or CX600 or FAS3270」と指定すると、複数のストレージモデルが検出されます。
- ・このデータセンターに関連付けるストレージアレイを選択します。目的のアレイをすべて選択したら、[Actions]\*ボタンをクリックし、[Edit annotation]\*を選択します。
- ・ダイアログで、[データセンター]\*アノテーションを選択します。
- ・目的の\*値\*を選択します（例：“DC1\_SVL”）。

- ・[保存（Save）]をクリックします。
- ・[Query results]ページに[Data Center]列が表示されない場合は、[Columns]\*ボタンをドロップダウンして[Data Center]\*を選択します。
- ・必要に応じて、[Query]ページの右上にある\*[Save]\*ボタンをクリックし、一意で明示的な名前を指定することで、あとで使用できるようにクエリを保存できます。たとえば、「ストレージアレイ-SVLデータセンター」と入力します。

「SVL」アノテーションを他のアセットに関連付ける場合は、新しいクエリを作成し、アセットタイプごとに次の手順を実行します。

それぞれのデータセンターのアセットについて、上記の手順を繰り返します。

## 階層を照会してアノテーションを適用しています

クエリを使用して、環境内の適切なアセットにアノテーションを関連付けます。ここでは、これらの階層を適切なアセットに関連付けます。

前の手順で、階層のアノテーションを設定しました。この例では、階層をストレージプールに関連付けます。階層のアノテーションは次のように設定されていると想定します。

| 価値        | 説明          | GBあたりのコスト |
|-----------|-------------|-----------|
| ティア1 SSD  | オールフラッシュアレイ | 0.5       |
| ティア2 SAS  | (SAS)。      | 0.25      |
| ティア3 SATA | SATA        | 0.1       |

環境内のすべてのSSDディスクを検索し、「階層1 SSD」アノテーションを関連付けます。

- ・管理者権限を持つユーザとしてInsightにログインします
- ・[Queries]>[\*+New Query]\*を選択します
- ・フィールドのドロップダウンリストで、[ストレージプール]\*を選択します。すべてのストレージプールのリストが表示されます。
- ・[名前]フィールドは今回は役に立たない可能性があるため、別のフィールドを使用してみましょう。[More]\*ドロップダウンをクリックし、[Least performing disk type]を選択します。このフィールドには、該当するディスクタイプが表示されます。フィールドに「'SSD'」と入力し、をクリックします。ボタンを押します。クエリ結果のリストには、SSDストレージプールのみが表示されます。
- ・さらに絞り込むには、\* More \*ドロップダウンをクリックして追加フィールドを選択します。
- ・この階層に関連付けるストレージプールを選択します。必要なストレージプールをすべて選択したら、[操作]\*ボタンをクリックし、[アノテーションの編集]\*を選択します。
- ・ダイアログで、[階層]\*アノテーションを選択します。
- ・リストから目的の\*値\*を選択します。この例では、「階層1 SSD」を選択します。
- ・[保存（Save）]をクリックします。

- ・[Query]の結果ページに[Tier]列が表示されない場合は、[Columns]\*ボタンをドロップダウンして[Tier]\*を選択します。アセットに適切なアノテーションが関連付けられていることを確認します。
- ・[Query]ページの右上にある\*[Save]\*ボタンをクリックし、一意で明示的な名前を付けてクエリを保存します。たとえば、「ストレージプール-階層1 SSD」と入力します。

「階層1のSSD」というアノテーションを他のアセットに関連付ける場合は、新しいクエリを作成し、アセットタイプごとに次の手順を実行します。

残りの階層のアセットについても、同じ手順を繰り返します。

## サービスレベルと環境のアノテーション

学習した手順と概念を使用して、サービスレベルと環境のアノテーションを適切なアセットに追加します。

サービスレベルと環境のアノテーションを環境内の適切なアセットに追加するには、前述の手順に従って、必要なアセットと適切なサービスレベルまたは環境のアノテーションを選択します。同じアセットに複数のアノテーションを関連付けることができます。そのため、Insightで環境をより柔軟に管理できるようになります。

これで、クエリを作成してアセットにアノテーションを付けることができました。次のようなさまざまな方法でアノテーションを使用できます。

- ・必要なアセットでイベントが発生したときにアラートを生成するパフォーマンスポリシー
- ・アクティビティを監視するカスタムダッシュボードとウィジェット
- ・レポート作成

## 著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。